

精神に障がいがある方の 生活・就労を支援する

作業療法

応援します あなたの生活



作業療法 (Occupational Therapy=OT) は、生活に障がいがある方々を支援するリハビリテーションの方法の1つです。作業療法士は日々の生活で行われる様々な作業活動を用いて、その人の健康的な部分に働きかけ、心とからだの回復を助け、自分らしい生活を再建していくための支援を行います。

作業療法士が活躍する分野と概要

病院における精神科作業療法 (入院・外来)

作業療法士は入院して間もない時期（急性期）から、退院して地域で自分らしい生活ができるように、その方になじみのある様々な作業活動（家事や身の回りのこと、仕事、遊びなど）を手段として用い、回復を支援します。



デイケア

作業療法士をはじめ、多職種でその方の目標に合わせて地域生活を支援します。グループ活動を中心に再発や再入院の防止、病気の自己管理、活動の場や公共施設の活用、仲間づくりなどを支援します。



作業療法での作業活動とは

作業=Occupationの語源のoccupyには、「従事する」「占める」などの意味があります。「作業」には、人が日々の生活に必要なあらゆる活動——仕事・日常生活・社会生活・遊びや余暇・創作活動など——が含まれます。作業療法では、人がより良く生きるために、こうしたすべての「作業」が支援の手段となります。

訪問作業療法

作業療法士が生活の場に訪問し、より良い生活が送れるように支援します。具体的には服薬の仕方や睡眠の状態について相談を受けたり、個々の生活状況に合わせた日常生活（部屋の片付け方、携帯電話の使い方、調理、洗濯等）の支援や、その人が暮らしやすい環境づくりなどを行います。



就労支援

「働きたい」と思っている方と一緒に、どんな仕事が向いているのか、仕事につくための準備を支援します。具体的には、他機関と協力しながら実際の職場で支援（ジョブコーチ）していきます。また、復職支援も行います。



地域活動支援センター

作業療法士は、他の専門職や地域の関係機関と協力しながら、地域での生活を支援します。具体的には、生活上の様々な相談にのったり、居場所や余暇活動を提供したり、福祉サービスの情報提供や仲間づくりなどの支援を行います。



障がいがある方を

統合失調症
気分障害(そううつ病・うつ病)
物質依存障害(アルコール、薬物など)
摂食障害
人格障害
認知症
神経症性障害
高次脳機能障害
広汎性発達障害 など

精神科病院
総合病院
クリニック
デイケア
行政機関(保健所、精神保健福祉センター)
地域活動支援センター
自立支援法関連施設
司法精神関連施設(保護観察所、刑務所など)
訪問看護ステーション
グループホーム
ハローワーク
就労サポートセンター など

さまざまな場で 支援します

OT



社団法人

日本作業療法士協会

Japanese Association of Occupational Therapists

事務局 東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル

TEL 03 (5826) 7871 FAX 03 (5826) 7872

<http://www.jaot.or.jp>